

千葉市美術館企画展「平木コレクションによる 前川千帆展」を開催します！
～近代日本を代表する創作版画家、44年ぶりの大回顧展～

千葉市美術館では、企画展「平木コレクションによる 前川千帆展」を開催しますので、お知らせします。

本展は、近代日本を代表する創作版画家であり、漫画家の前川千帆（1888～1960）の作品や資料約350点を紹介する、44年ぶりの大回顧展です。

開催にあたり、7月12日（月）15：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 令和3年7月13日（火）～9月20日（月・祝）
前期：7月13日（火）～8月15日（日）
後期：8月17日（火）～9月20日（月・祝）
休館日 8月2日（月）、9月6日（月） ※休室日 8月16日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館
協力 公益財団法人平木浮世絵財団
- 4 同時開催 コレクション展「江戸絵画と笑おう」
- 5 ポイント ◆創作版画「御三家」のひとり、前川千帆



《山雀と少女》1955年 公益財団法人平木浮世絵財団蔵

恩地孝四郎、平塚運一とならび、日本近代の創作版画御三家の一人と称される前川千帆。日本版画協会展や官展などに木版画を発表し続け、創作版画の普及に努めました。本展は、1977年にリッカー美術館で開催された「前川千帆名作展」以来、44年ぶりの大回顧展となり、主要な版画作品の他最初期の新聞・雑誌投稿時代の作品から、漫画原画や版本の草稿、版木などさまざまな資料を含む約350点を紹介します。

◆知られざる漫画家としての活躍、草創期ジャパニアニメーションと関係も

版画家以前に、漫画家として活躍していた前川千帆は岡田一平らと同時代に活躍し、当時の漫画界では欠かせない存在でした。読売サンデー漫画での連載漫画《あわてももの熊さん》は映画化や芝居化されるなど、大ヒット作品となりました。また日本アニメーション映画の先駆けであり、唯一フィルムが現存している「なまくら刀」で作画に関わっていたことも近年の研究で判明しています。本展では連載漫画の掲載紙や原画を展示するほか、「なまくら刀」も上映します。

◆コレクション展「江戸絵画と笑おう」も必見

千葉市美術館のコレクションから「笑い」をキーワードに、犬や猫たちを描いた動物画、ウィットに富んだ戯画、ユーモアを交えて教義を伝える禅画など親しみやすい作品を紹介します。

6 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)

※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※ ()内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※ 前売券は、ローソンチケット、セブン-イレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて7月12日まで販売(7月13日以降は当日券販売)

※ リピーター割引: チケット(有料)半券のご提示で、2回目以降の観覧料半額

※ ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18時以降は観覧料半額

7 関連イベント 展覧会に関連して、講演会やワークショップを開催

8 その他 本展のチラシ別添

「平木コレクションによる 前川千帆展」披露説明会 開催概要

日時 7月12日(月) 15:00から

場所 千葉市美術館 8階展示室

内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 西山純子

広報担当 磯野 愛

〒260-0013 中央区中央3-10-8

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp